

萩商工吹奏楽部定期演奏会

12日(月・祝)萩市民館大ホールで

山口県立萩商工高等学校吹奏楽部(長岡美希部長、部員数27人)の第14回定期演奏会が、1月12日(月・祝)午後1時半から萩市民館大ホールで開かれる。同部および同後援会の主催(後援:萩市、萩市教育委員会、山口県吹奏楽連盟)。入場料は300円で中学生以下無料。

萩商工高校吹奏楽部は3年生7人、2年生15人、1年生5人の合計27人。約半数が未経験で入部するため、音楽を楽しむことを最優先にしている。だが今年は、2年生が多いこともありコンクール県大会で競争の激しいA部門に参加。結果は銅賞だったが部員たちは手応えを感じ、来年は金賞を取りたいと盛り上がった。

年間の活動の軸は、夏のコンクールと冬の定期演奏会。運動部の応援や体育祭など学校行事のほか、萩時代まつりや田町商店街クリスマスイベントなど地域の行事でも演奏を披露した。また今年度は下田市と萩市の姉妹都市提携50周年記念交流事業にも参加した。



定期演奏会に向けて練習に励む部員たち

計画をできるだけ生徒に委ねてきた。来年度の異動が決まっており、この演奏会が5年間の集大成となる。

今回の演奏会は「つながり」がテーマ。校歌で幕を開ける。続く「祝い唄と踊り唄による幻想曲」は、今年度のコンクール課題曲。音色やアンサンブル、音楽表現にこだわ

りながらも仲間と一緒

に音楽を作りあげる喜びを味わってほしいという作曲者の思いを萩商工流に表現する。また、「チャルダッシュの女王セレクション」は自由曲として取り組み、部員たちの努力が詰まった曲。原曲はオペレッタ(喜歌劇)なので「歌心」が聴きどころ。

「エアーズ」も平成16年のコンクール課題曲。テレビ番組「笑ってコラえて吹奏楽の旅」で取り上げられたことで知られる。さらに、「シングシングシング」は映画「スウィングルガールズ」の劇中曲として有名になった演奏会を盛り上げる曲。

J・POPやアニメングも

後半は、吹奏楽を聴き慣れない人でも気軽に楽しめる曲が並ぶ。会場に訪れた幅広い世代を意識した構成となっている。

「Official髭男dismモデル」は、「ヒゲダン」の愛称でおなじみのバンドによる透明感のあるボーカルが特徴のヒット曲の数々を、吹奏楽で。「奏」もJ・POPの名曲。スキマスイッチの切ない世界観を情感たつぷりに演奏する。さらに「昭和アイドルコレクション」「アニソングメドレー」では、

という作曲者の思いを萩商工流に表現する。また、「チャルダッシュの女王セレクション」は自由曲として取り組み、部員たちの努力が詰まった曲。原曲はオペレッタ(喜歌劇)なので「歌心」が聴きどころ。

「エアーズ」も平成16年のコンクール課題曲。テレビ番組「笑ってコラえて吹奏楽の旅」で取り上げられたことで知られる。さらに、「シングシングシング」は映画「スウィングルガールズ」の劇中曲として有名になった演奏会を盛り上げる曲。

誰かが聞き覚えのある曲が続く。

演奏会の最後を飾る「アフリカンシンフォニー」は、人気投票でも常に上位にランクインされる吹奏楽の名曲。智弁和歌山高校野球部の活躍とともに、甲子園の応援ソングとしても定番になっている。

長岡美希部長は「今回はソロ演奏も多い。それぞれの楽器の特徴と、一緒に、部員たちの頑張りを見てください」と話している。

問い合わせは同校 ☎22:0034へ。